

必要な人に必要なものを

～マッチングサイト構築による支援物資供給の効率化について～

参議院議員 竹谷とし子

<要望提案>

現地からの物資需要と善意で提供される物資、政府の調達物資のマッチング作業を、今よりも効率的に行なうことを提案いたします。

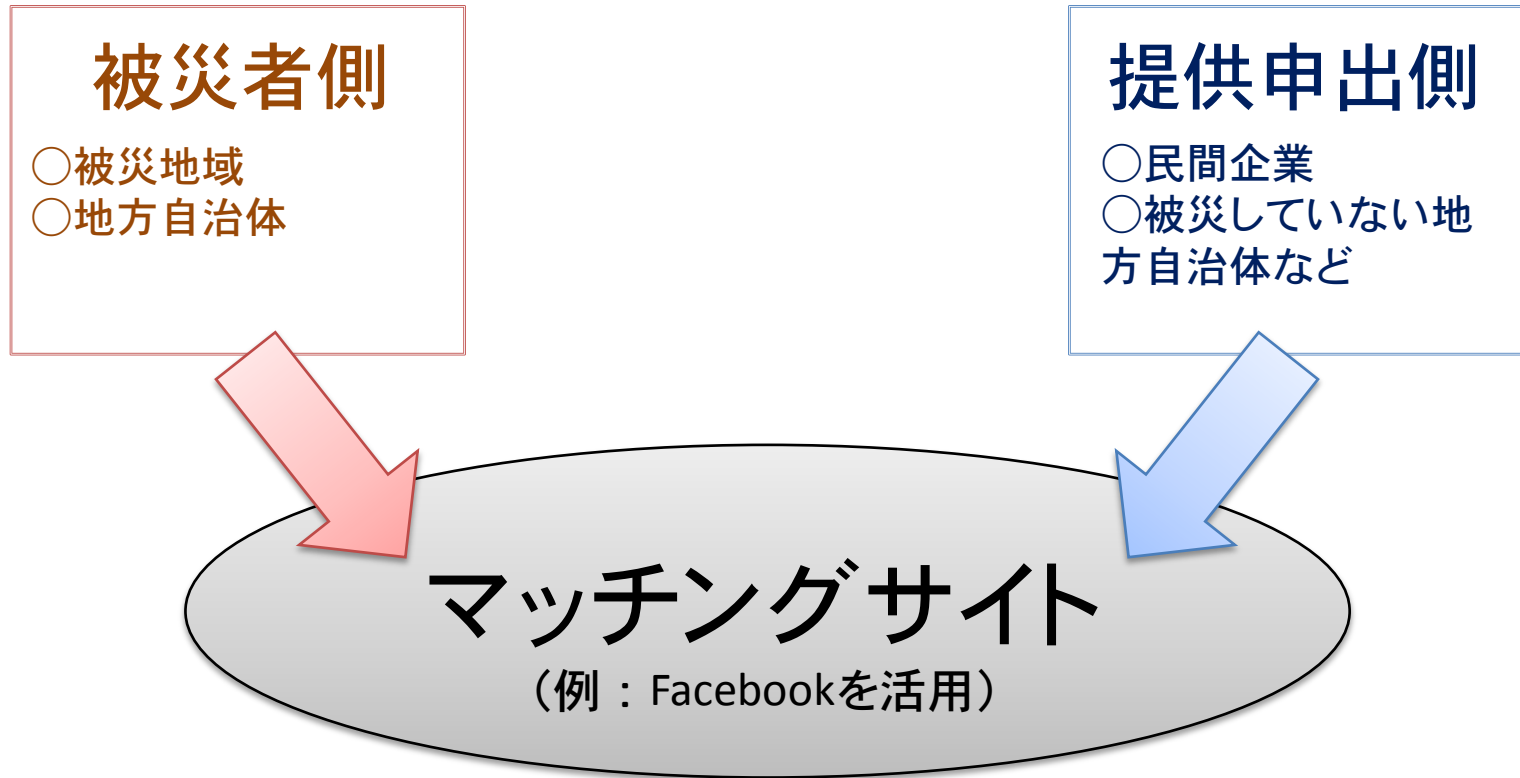
現在、物資提供の申し出や支援依頼が多くの方々から寄せられています。

政府のマッチング作業を効率化させ、情報を公表することにより、現地に物資が届くスピードが格段に上がり、より多くの命を救うことができます。

次項に具体的な施策を記します。

参議院議員 竹谷とし子

1. マatchingサイトの構築提案



被災側の必要な物資と
提供できる支援物資を一元管理・公開

2. マatchingプロセス案

被災者側

Matching作業イメージ

提供申出側

被災地A:
衣料がない!

被災地B:
水がない!

被災地C:
薬がない!

コールセンター構築・集約



<情報公開>
*フリーダイヤル
*メールアドレス



○各5~10名程度の体制

企業A:
下着3万枚提供

企業B:
米を1トン提供

企業C:
毛布1万枚提供

①カテゴリ毎に、被災者の必要物資を一覧化
例) ①医薬品 ②食料 ③衣類 ④衛生用品 など

②提供申出側の物資をMatchingし、必要な地域に必要な数の支援物資を提供

③Matchingした結果の最新情報を常にWebにUPすることで、常に必要な物資を可視化する

3. マッチング作業効率化への対策案

受付体制構築

1. 電話番号
 - └ 殺到することを想定し、5～10名程度のコールセンターをつくる
 2. メールアドレス
 - └ 電話が繋がりにくいため、メール受付を可能とする（同じく5～10名のセンター）
- ※イタズラ防止のため、電話番号を聞いて、こちらからかけ直すという運用とする。
※当初は効率的に実施するため、個人の申し出と企業の小口支援は受付が可能になるまで待機してもらい、大口企業のみを受け入れ可能とする。

情報開示

1. 提供物資の申し入れを一覧化し、公表する
 - └ 窓口で整理した、提供可能物資の内容、数、及び、提供責任者と現在の保管場所の名称、住所、電話番号、窓口担当者名をエクセルに一覧化
2. 被災地・自治体等からの支援依頼を一覧化する
 - └ 必要物資の内容、数、及び、依頼責任者と場所の名称、住所、電話番号、窓口担当者名をエクセルに一覧化

進捗公開

1. 調達が必要な物資、物流手段を全ての人が共有できるようにする
 - └ マッチングの結果、不足している物資を一覧化する
2. 物流状況（出発日・配達予定日の公開）を被災者が確認できるようにする

個人情報を除く上記の最新情報を随時更新して、インターネット上に公表し、政府、自治体、提供者、全ての人が見られるようにする

4. 情報公開サイト提案

1. 政府サイト

2. Facebook

↳新たなサイト構築のための時間とコストがかかりません。

↳情報の紐付けが可能であり、支援依頼情報に対して、提供可能物資の情報とのマッチング状況の公開にも適している

↳情報提供者が実名でのみ情報登録可能であり、イタズラを未然に防ぐこともできます。何よりもシステムが安定しており、より多くの人アクセスすることができます。

被災の状況から鑑みて今後も長期化することを踏まえ、以上の通り、マッチング作業の効率化を提案します。

竹谷とし子